



C4Cだより

一般社団法人コミュニティ・4・チルドレン
 〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町1-45-1-302
 TEL:06-6622-5645 / FAX:06-6621-7139
 メール:community_4_children@yahoo.co.jp
 HP:https://www.community4children.com/

宮城 / 防災ゲームがついに完成&防災レシピカレンダー製作プロジェクトも開始!

防災ゲームが完成&体験会を開催しました

2年半かけて開発してきた防災ゲームがついに完成しました! その名も
持ち出し品ゲーム これ持ってぐ〜(Good)!
防災すごろく 助け合ってご〜(Go)!

どちらも、子どもから大人まで楽しみながら防災について学ぶことができ・東日本大震災の経験を教訓として発信できるツールにしたいとの思いで作成しました。県内外で少しずつご紹介を始め、ありがたいことに早速ご注文やお問い合わせをいただいています。(※家庭用ではなく、学校や地域の防災講座で活用いただく学習教材となります)

12月18日に、仙台市内で体験会を開催しました。新型コロナの感染拡大が落ち着き、また年末ということもあり小規模な開催となりましたが、以前からお世話になっている皆さん、そしてゲームの開発に携わってくださった企画メンバーの皆さんにお集まりいただき、近況を報告し合いながらのアットホームな会となりました。

体験会は今後も全国各地で開催予定です。また個別の出張体験への対応もご相談に応じます。ゲームの詳細や今後の体験会開催情報・連絡先等については、現地団体くらしの学びサポートオフィスHumanBeingのホームページ(<https://www.officehb.net/>)をご覧ください。(菅原)



持ち出し品ゲーム これ持ってぐ〜(Good)!



防災すごろく 助け合ってご〜(Go)!

～ 体験者の声 ～

- 実際に起こった出来事が基になっているので、災害時にどのような問題が起きるか・どう対応するかを考える、良い機会になると思いました。
- 子どもから大人まで一緒に楽しみながら学べるツールなので、地域交流のいいきっかけにもなりそう。子どもたちと町内会役員と一緒に学ぶ機会を作って活用してみたいと思いました。
- ゲームの前で写真や映像も使いながら、避難所での生活の様子や災害ボランティア活動について伝える機会に活用できたらと思います。



防災レシピカレンダー製作プロジェクトがスタートしました!



宮城学院女子大学ボランティアサークルFood and Smile!、東六郷・東部かあちゃん'ず、仙台市社会福祉協議会若林区事務所の協力を得て、誰にでも必要な「食」という切り口から、防災が日常に溶け込み取り組んでいただきやすくなればと考え、防災レシピを掲載したカレンダーの製作をスタートしました。

12月15日に関係者が初めて一堂に集まり、Food and Smile!の皆さんがかあちゃん'ずの皆さんに、震災当時の食生活や食に関する課題についての聞き取りを行いました。

この日お聞きしたことも参考にさせていただきながら、カレンダーに掲載するレシピを詰めていき、2023年のカレンダーを作ります。今後も進捗状況をお知らせしていきますので、ぜひご注目ください!(菅原)

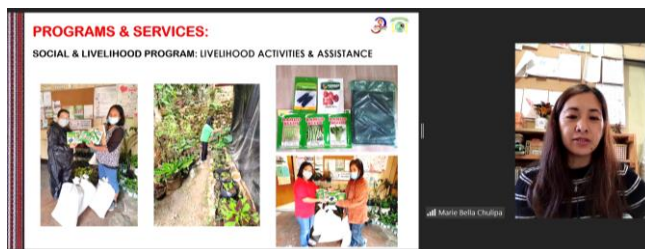
フィリピン / オンライン・スタディ・ツアーを開催しました！

11月23日、フィリピン現地連携団体JPCOM-CARESとオンラインでつなぎ、スタディツアーを開催しました。会員の方、本イベントで初めてC4Cのことを知ってくださった方など、6名の方がご参加くださいました。

この日、日本は祝日でしたがフィリピンは平日のため、普段の活動の様子をご紹介することができました。代表マリベルさんに活動全体のお話をいただいた後、センター内のツアーを開催し、子どもたちが理学療法や作業療法、自立生活プログラムのサービスを受けている様子を見ていただきました。

参加者の皆さんからは、「フィリピンならではの取り組みはありますか？」や、「しょうがい児・者の福祉サービスにはどういったものがありますか？」など、様々なご質問をいただき、高い関心を寄せて参加くださったことが伝わってきました。

フィリピンの現地スタッフたちも、参加者の皆さんに普段の活動を見ていただけたことをとても喜んでいました。次回は、リハビリテーションセンターを飛び出してできないかと、スタッフたちと企画を考えています。(山田)



4ヶ国会議 / オンラインでつなぐスタッフ交流 - 国際ネットワークを作ろう！



コロナウイルス感染症が蔓延してから国を越えた交流ができなくなっただけでなく、現地の活動自体も縮小や中止が強いられました。特に2020年に企画していた、C4Cが応援する4ヶ国の団体スタッフと子どもたちが集まる「青少年国際キャンプ」も中止になりました。しかし国際交流は止めてはならないと考え、限定的ですがオンラインで4ヶ国から連携団体の代表がお互いの経験や知識を共有し、お互いの仕事の中で生かしていくことができるような場を作ることにしました。

第1回目は、8月28日に行い、4ヶ国4名の代表が、これまでの活動の経緯と現在コロナ禍下における活動の状況などを発表し合い、お互いの理解を深めました。2回目からは一人ずつ順番に自分の活動や将来のアイデアを共有していくことにし、これまで9月フィリピンJPCOM-CARES代表マリベルさん、10月タイ・ノーンメック村事業トゥックさん、11月カンボジアKhmer Community Development代表ソーカさんによる話題提供が行われました。それぞれフィールド、活動分野、活動対象者などは異なりますが、子どもたちが安心して暮らせるようなコミュニティ作りを応援する目的は共有しています。

それぞれの現場で活動している時に会える課題の数々、例えば、しょうがいのある子どもたちが活動に参加するためにはどうすればいいのか、どうすれば立場や年齢の異なる人々が協働できるのか、子どもたちに寄り添うとはどうすればいいのかなど、経験や知識を共有し、個々人が考えながら自分の現場でも応用できるように質疑応答も活発に行われました。

1月には日本・宮城HumanBeing代表菅原さんが話題提供する予定です。人と人が会うことによって何らかのよい化学反応が起きることを期待しながら、オンラインでの交流を続けていきます。(加藤)

代表のつづき

新春の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。C4Cが設立10年を迎え新たな10年に進むことが出来るのは、皆様方の温かいご支援のお蔭です。厚く御礼申し上げます。

今年も年始から新型コロナウイルス・オミクロン株との戦いとなっておりませんが、徹底した感染防止をしながら、安全な日々をお過ごしいただきたいと思います。願っております。

私たちも、状況を見ながら対面やオンラインでの交流の機会を広げようと理事会での検討を進めています。宮城で開発した防災ゲームの体験会や日本とカンボジアの子どもたちのつながりづくりなどアイデアや想いを形にして行きたいと考えております。ご案内しました際には、是非ご参加ください。

皆さんは、どのような夢や目標をもって2022年を進まれるのでしょうか。私事ですが、心と体の健康を第一目標に頑張り過ぎないことかなと考えております。皆様のご健康とご活躍を祈ります。

